

オンラインで大人への誓い

# 令和3年丹波市成人式

市民活動課（氷上住民センター内）☎82-0409



5月4日、丹波の森公苑において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期していた令和3年丹波市成人式を無観客で挙行了しました。

今年、晴れの門出を迎えた新成人は727人。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、新成人が一堂に会して挙行する成人式を断念し、来賓や新成人代表のみの式典やアトラクションを、動画投稿サイト「ユーチューブ」で生中継をする前例のない成人式となりました。

第1部の式典では林時彦市長が「丹波市の未来を担う皆さんが、立派に成人となりましたことを、大変喜ばしく、心からお祝い申し上げます。新成人の皆さんが一堂に会しての成人式ができなかったことは断腸の思いです。新成人の皆さんは、今後の長い人生、悩む時や、苦しくなる時はあるかと思えます。そんな時は、ふるさとの豊かな自然や家族、友達など皆さんの心の中にある丹波市を思い出してください。皆さんが安心して帰ってきたい、住みたいと思える丹波市を実現したいと考えています。皆さんの若い力で、この丹波市を盛り上げてくれることを大いに期待しています」と激励のメッセージを届けました。

続いて、記念品の贈呈や、新成人を代表して湯浅達也さんが「誓いの言葉」を述べました。また、第2部の成人式実行委員会

## 令和3年成人式実行委員

成人式のアトラクションの企画や運営をするために、昨年10月に活動を開始した実行委員8人を紹介します。



写真右から【氏名】新成人としての抱負など

【和久拳士】新型コロナウイルスが猛威を振るっているが、今しかできないことを一生懸命取り組みたい。  
【土屋大地】丹波市で多くの人とつながりができてよかった。感謝の気持ち忘れずに頑張りたいです。  
【能口 溪】成人式を節目に、大学生活も振り返りになるので、気を引き締めて行こうと思います。





新成人代表  
湯浅達也さん

私は、中学校卒業後に甲子園を目指すため丹波を離れました。15歳とはいえ、心は未熟な状態で親元を離れて何度も心が折れそうになったことがありました。その時に支えになったのが家族であり、これまで一緒に育ってきた地元の友人でした。時には逃げ出したくなったこともありましたが、今こうして元気に過ごせるのは、家族や友人のお陰です。親元を離れ、これまで当たり前だった家族の存在や、友人の存在の大切さにも気づくことができました。丹波に帰るたび、他愛もない話をするのがとても楽しく、応援してくれる家族や友人に何度も助けられ、家族、友人のためにこれからも頑張ろうという気持ちになりました。

当初の成人式が延期になり、この度の成人式もオンライン開催と、前例にない形になりました。僕自身を含め、友人に会うのを心から楽しみにしていた方も多かったと思います。これまでのように学校に行けば友人と会えるという環境ではなく、友人の大切さをより一層感じました。しかし、このような形になったことを、特別な思い出として笑い合える日がくればいいなと思います。

丹波市は、緑が豊かで空気がおいしい、自然豊かなまちです。丹波を離れてから、丹波にしかない良さにたくさん気づきました。最も感じたのが、人と人とのつながりです。登下校での「おはよう」「おかえり」といったあいさつや、ご近所での助け合いなど、人が持つぬくもりを感じさせてくれる丹波が私は大好きです。

私たちは、「成人」という節目の年を迎え、大人の仲間入りをしました。私たちがこれから歩む道は、決して平坦な道ではないかもしれませんが、多くの出会いと、1つひとつの努力の積み重ねがいつか必ず大きな実を結ぶことになると思います。

「丹波市」という素晴らしい地で生まれ育ち、今こうして仲間と共に成人を迎えられたことを誇りに思い、これからもそれぞれが周りの人への思いやりの心を忘れずに、自分らしく歩いていきます。どうぞこれからも温かく、ご指導、ご助言をいただきますようお願い申し上げます、「誓いの言葉」とさせていただきます。

\*紙面の都合上、一部要約して記載しています。



▶式典参加の新成人代表者写真右から  
誓いの言葉…湯浅達也さん、丹波市  
記念品代表受領…園田凜さん、司  
会…八尾真英さん、JA記念品代表受  
領…小高和典さん

による企画のアトラクションでは、オンラインによる新成人参加型インタビューで、将来の夢などを語り合う場面や、恩師の思い出メッセージの映像が配信されました。

新型コロナウイルス感染症という新たな脅威によって生命が脅かされるとともに、社会経済活動などが制限されるなかで、新成人の皆さんはコロナ禍に負けない新たな時代を担う決意と自覚を胸に、輝かしい未来への一歩を踏み出しました。

【藤本胡桃】感謝の気持ちを忘れず、大人としての自覚を持ち、社会に貢献できるように頑張ります。

【足立雅】これまで支えてくれた家族や友人に感謝しています。素敵な大人になれるように努力します。

【藤本拓真】今までお世話になった人、そして故郷である丹波市に少しづつでも恩返しをしたいと思います。

【塩見貴政】丹波市役所に勤めています。帰ってきたくなるまちづくりに少しでも貢献したいと思っています。

【坂田シャハル】将来の夢は、人を笑顔にする職業に就くこと。いつか丹波市に恩返しをしたいと思っています。

※坂田さんは当日オンライン参加